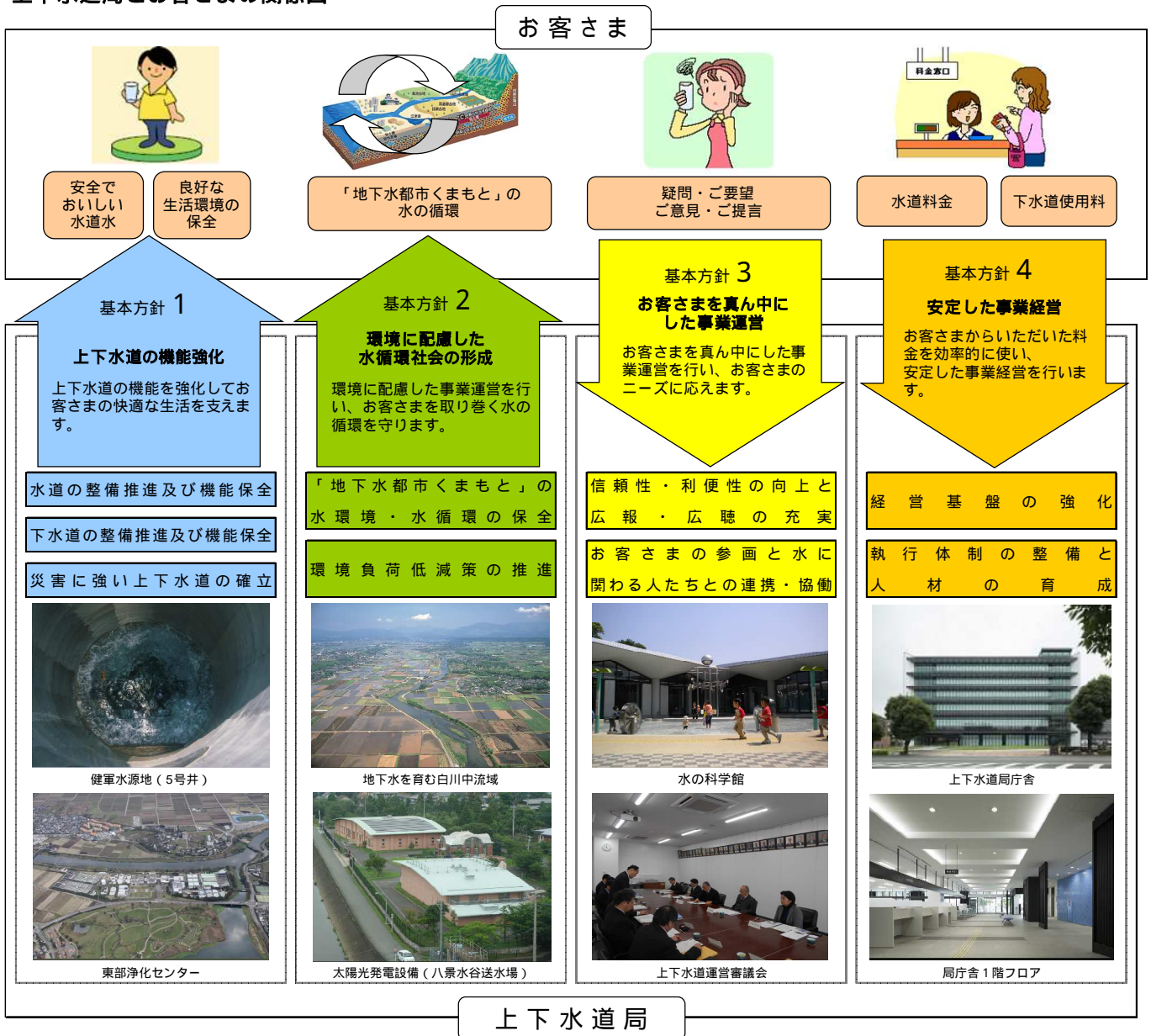


熊本市上下水道事業経営基本計画 事業評価報告書 (平成28年度)

概要版

上下水道局とお客さまの関係図



平成30年3月
熊本市上下水道局

趣旨

熊本市上下水道局では、平成 24 年 3 月に「熊本市上下水道事業経営基本計画」(計画期間：平成 24 年度～平成 33 年度)を策定し、事業を推進しています。事業の推進にあたっては、毎年度、主な取組みの実績や成果指標の達成状況について検証を行い、今後の事業運営に活用することとしています。

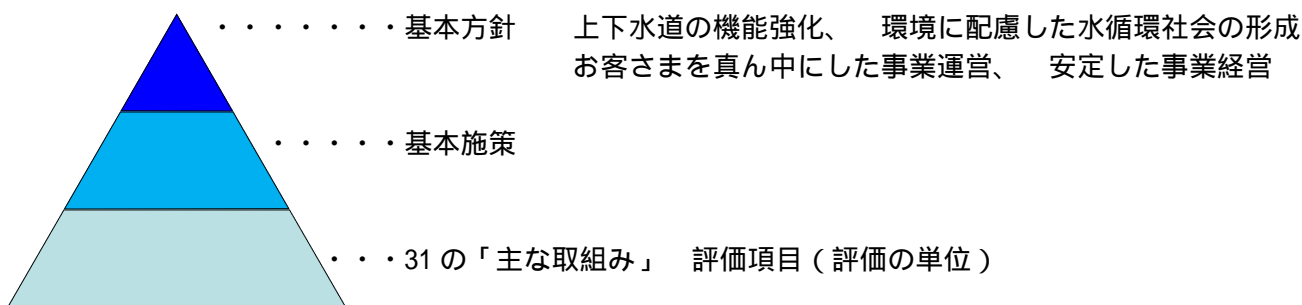
このたび、事業評価結果(平成 28 年度)がまとまりましたので、市民のみなさまに公表いたします。

事業評価の概要

評価項目(評価の単位)

「熊本市上下水道事業経営基本計画」は、4 つの基本方針のもと、9 つの基本施策、28 の「主な取組み」(うち 2 事業は完了済み)から成り立っています。

また、平成 28 年度から熊本市上下水道事業震災復旧復興計画の取組みについても事業評価を実施し、合計 31 の「主な取組み」について評価を取りまとめています。



成果指標

「主な取組み」ごとに、その取組みの内容や成果を客観的に評価できるよう「成果指標」を設けて評価を行いました。成果指標は、目標年次(主に平成 33 年度)に対する現時点での達成度を 4 段階で評価しています。

なお、この概要版には、主な成果指標のみ記載しています。



目標をすでに達成している。



目標に向けて順調に推移している。



基準値は上回るが順調に推移していない。



基準値を下回っている。

「熊本市上下水道事業経営基本計画」、事業評価報告書(概要版)、事業評価報告書は、上下水道局ホームページに掲載しています。

熊本市上下水道事業経営基本計画

検索

または、URL : http://www.kumamoto-waterworks.jp/?article_cat=management

基本方針 1 上下水道の機能強化

基本施策 1 水道の整備推進及び機能保全

1-1 水道施設の維持管理

老朽管の更新や漏水防止対策等の実施により、水道施設の維持管理を計画的に行っています。

平成 28 年度実績

- ・老朽化した配水管の布設替工事（桜町・水源地区など）
- ・漏水調査の実施（調査延長約 2,700km、漏水発見件数約 900 件）など

成果指標【H27：D 評価 H28：D 評価】

【水道】有効率(%)... (年間有効水量/年間配水量) × 100

基準値 (H23)	実績 (H28)	目標値 (H33)	評価	評価理由
93.9%	87.8%	96.9%		D

今後の方向性

熊本地震を踏まえた漏水調査地域を選定し漏水調査を年間 2,300 km 実施します。また、これまでの音聴調査による漏水調査に加え、新たな調査手法を検討し、より多くの漏水発見に努めます。

1-2 水道施設の機能強化

未普及地区の整備や小規模施設の統廃合により、水道施設の機能強化を図ります。

平成 28 年度実績

- ・水道未普及地区の整備（城南町赤見地区、植木町亀甲地区など）
- ・南部送水場関連工事の実施など

成果指標【H27：B 評価 H28：C 評価】

【水道】給水普及率(%)... (給水人口/給水区域内人口) × 100

基準値 (H23)	実績 (H28)	目標値 (H33)	評価	評価理由
94.0%	95.2%	98.3%		C

今後の方向性

水道施設整備実施計画及び第 6 次拡張事業に基づき計画的に事業を進めるとともに、水道の加入啓発活動を強化し、給水普及率の向上に努めます。

1-3 水道水質の維持管理

安全安心な水道水を供給するために、水道水質の品質管理を確実にしています。

平成 28 年度実績

- ・水質検査計画に基づく水質検査の実施

成果指標【H27：B 評価 H28：B 評価】

【水道】水質基準不適合率(%)... (水質基準不適合回数/年間検査回数) × 100

基準値 (H23)	実績 (H28)	目標値 (H33)	評価	評価理由
0.2%	0.1%	0.0%		B

今後の方向性

水安全計画や水質検査計画に基づき水道水の品質管理を確実に実施します。

基本施策 2 下水道の整備推進及び機能保全

2-1 公共下水道の整備

下水道未普及地区の整備を推進しています。

平成 28 年度実績

- ・下水道未普及地区への下水道管布設（熊本地区 83ha、城南地区 4ha、植木地区 12ha）

成果指標【H27：C 評価 H28：C 評価】

【下水道】普及率(%)... (処理区域内人口/行政区域内人口) × 100

基準値 (H23)	実績 (H28)	目標値 (H33)	評価 C	評価理由
86.2%	89.1%	96.1%		基準値は上回っているが順調に推移していないため

今後の方向性

国庫補助制度を有効活用し、下水道未普及地区の解消に取り組みます。

2-2 下水道施設の維持管理

下水道管・ポンプ場・浄化センターの長寿命化対策に取り組んでいます。

平成 28 年度の主な実績

- ・浄化センター及びポンプ場の機器の更新や長寿命化対策の実施
- ・管渠長寿命化計画に基づく城東 B 地区外（黒髪 2 丁目外）、水前寺地区外（大江 5 丁目外）等の管渠更生工事の実施

成果指標【H27：B 評価 H28：B 評価】

【下水道】浄化センター・ポンプ場の施設機器の更新率(%)... (H20～30 改築済機器総数/H20～30 改築必要機器数) × 100

基準値 (H23)	実績 (H28)	目標値 (H30)	評価 B	評価理由
33.0%	70.2%	100%		事業計画のとおり進捗しているため

今後の方向性

引き続き下水道施設長寿命化計画に基づき効率的かつ効果的な維持管理に取り組んでいきます。

2-3 下水道放流水質の維持管理

水洗化率（下水道接続率）の向上や放流水質の向上を図っています。

平成 28 年度実績

- ・水洗化率向上対策の実施（指定工事店を対象とした事業者説明会など）

成果指標【H27：B 評価 H28：A 評価】

【下水道】水洗化率(%)... (下水道接続済人口/処理区域人口) × 100

基準値 (H23)	実績 (H28)	目標値 (H33)	評価 A	評価理由
96.6%	97.1%	97%		計画当初の目標を達成したため

今後の方向性

さらなる水洗化率の向上を図るため未接続世帯への啓発を継続的に実施します。

基本施策3 災害に強い上下水道の確立

3-1 総合的危機管理体制の確立

災害時に適切な対応を図るため、危機管理体制の整備を進めています。

平成28年度実績

- ・自然災害等危機管理への計画的対応（応急給水器具、給水車、防災対策備品の取得など）

成果指標【H27：D評価 H28：D評価】

【水道】災害対策用貯水量(m³)...災害発生時に飲用水が確保できる量

基準値(H23)	実績(H28)	目標値(H33)	評価 D	評価理由
60,350 m ³	60,050 m ³	68,000 m ³		基準値を下回ったため

施設の統廃合により天明配水場が廃止となったため、基準値を下回っています。

今後の方向性

引き続き、ハード・ソフト両面から危機管理体制の整備を進めます。

3-2 地震対策の推進

水道施設及び下水道施設の耐震化を進めています。

平成28年度実績

- ・基幹管路の耐震化（健軍水源地から健軍自衛隊間、健軍水源地から上下水道局間等）
- ・下水道総合地震対策計画に基づく下水道施設の耐震診断の実施

成果指標【H27：B評価 H28：B評価】

【水道】耐震適合性のある基幹管路の割合(%)... (耐震性のある基幹管路延長/基幹管路総延長) × 100

基準値(H23)	実績(H28)	目標値(H33)	評価 B	評価理由
67.7%	74.9%	82.0%		事業計画のとおり進捗しているため

【下水道】管路耐震化率(%)... (耐震済管路延長/整備済管路延長) × 100

基準値(H24)	実績(H28)	目標値(H32)	評価 B	評価理由
30.3%	36.9%	40.0%		事業計画のとおり進捗しているため

今後の方向性

水道施設整備実施計画及び下水道総合地震対策計画に基づき計画的に耐震化を進めます。

3-3 浸水対策の推進

浸水被害の頻度が高い重点6地区の整備を進めています。

平成28年度実績

- ・坪井川第3排水区（調整池）整備に着手

成果指標【H27：C評価 H28：C評価】

【下水道】重点6地区の対策率(%)... (重点6地区の改善済排水面積/重点6地区の総排水面積) × 100

基準値(H23)	実績(H28)	目標値(H30)	評価 C	評価理由
0.8%	43.2%	100%		当初予定より事業の進捗が遅れているため。

今後の方向性

熊本地震の影響等により事業の進捗が遅れているため、これまでの実績や地震の影響等を踏まえた事業計画の見直しを行います。

基本施策 4 熊本市上下水道事業震災復旧復興計画の着実な推進

4-1 上水道・工業用水道施設の早期復旧

熊本地震により甚大な被害を受けた上水道・工業用水道施設を早期に復旧し、安定した水道給水体制を確保します。

平成 28 年度実績

- ・被災した水道管路の布設替工事（中央区二の丸地区）を実施
- ・被災した秋田 1 号配水池補修工事及び託麻 3 号取水井の水中ポンプ入替工事を実施

成果指標

【水道】熊本地震により被災した上水道管路の復旧延長(km)

基準値	実績（H28）	目標値（H31）	評価 B	評価理由
-	0.6km	4.4km (100%)		計画通り順調に推移しているため

【水道・工業用水道】熊本地震により被災した水道施設の復旧施設数（施設）

基準値	実績（H28）	目標値（H31）	評価 B	評価理由
-	33 施設	40 施設 (100%)		計画通り順調に推移しているため

今後の方向性

事業の早期発注や前倒し発注を行い、早期復旧を目指します。

4-2 下水道施設の早期復旧

熊本地震により甚大な被害を受けた下水道施設を早期に復旧し、汚水の流下及び処理機能の本格的な復旧に努めます。

平成 28 年度の主な実績

- ・国の災害査定に認められた復旧工事（下水道管路）に着手
- ・国の災害査定に認められた復旧工事（7 施設）を含め、9 施設の復旧工事を完了

成果指標

【下水道】熊本地震により被災した下水道管路の復旧延長(km)

基準値	実績（H28）	目標値（H31）	評価 B	評価理由
-	0.0km	47.4km (100%)		計画通り順調に推移しているため

実績値は「0.0km」ですが、計画通り復旧工事に着手しています。

【下水道】熊本地震により被災した下水道施設の復旧施設数（施設）

基準値	実績（H28）	目標値（H31）	評価 B	評価理由
-	9 施設	23 施設 (100%)		計画通り順調に推移しているため

今後の方向性

未契約の工区は、引き続き関係部署・団体等と対策を協議し早期に受注業者を決定します。

4-3 上水道・工業用水道施設の耐震化

防災対策として上水道・工業用水道施設の耐震化を推進するとともに、減災対策として災害対策貯水施設等を整備します。

平成 28 年度実績

- ・配水場と防災拠点をつなぐ管路の布設替工事（一部）による耐震化
- ・秋田配水場に非常用発電設備を設置

成果指標

【水道】耐震適合性のある基幹管路の割合（％）…（耐震性のある基幹管路延長/基幹管路総延長）×100

基準値（H27）	実績（H28）	目標値（H31）	評価 B	評価理由
74.3%	74.9%	80.0%		

今後の方向性

水道施設整備実施計画に基づき、着実に耐震化を推進していきます。

4-4 下水道施設の耐震化

防災対策として下水道施設の耐震化を推進するとともに、減災対策として浄化センターに非常用発電設備を設置します。

平成 28 年度の主な実績

- ・下水道施設（浄化センター・ポンプ場・管路）の耐震診断を実施
- ・東部浄化センターに非常用発電設備を設置

成果指標

【下水道】耐震化済み下水道管路延長（km）

基準値（H27）	実績（H28）	目標値（H31）	評価 B	評価理由
931km	956km	1,036km		

今後の方向性

平成 28 年度に見直した下水道総合地震対策計画に基づき、事業の着実な推進を図ります。

4-5 災害時対応力の強化

熊本地震における課題の検証を踏まえ、災害時の受援体制の構築や協定締結を促進します。また、災害時における応急給水体制の構築やマンホールトイレの整備を進めます。

平成 28 年度実績

- ・災害時に備えた応急給水器具や給水車の補強
- ・避難所として指定されている中学校 9 校にマンホールトイレを整備

成果指標

【水道】既存の貯水機能付給水栓の改良数（箇所）

基準値	実績（H28）	目標値（H31）	-	評価理由
-	-	28 箇所		

【下水道】マンホールトイレの設置基数（基）

基準値（H27）	実績（H28）	目標値（H31）	評価 B	評価理由
20 基	65 基	140 基		

今後の方向性

災害対策マニュアル及び業務継続計画の改訂を進めるとともに、災害時広報計画を策定し、災害の種類や規模に合わせた、的確で分かりやすい情報発信の充実を図ります。

基本方針 2 環境に配慮した水循環社会の形成

基本施策 5 「地下水都市くまもと」の水環境・水循環の保全

5-1 地下水を「育む」取組み

安全な水道水を将来にわたり安定的に供給するため、地下水保全事業や水の有効活用に取り組んでいます。

平成 28 年度実績

- ・「白川中流域水田を活用した地下水かん養事業」への支援（負担金：3,152 千円）など
- ・公益財団法人くまもと地下水財団への参画（負担金：24,189 千円）

成果指標【H27：D 評価 H28：D 評価】

【水道】地下水かん養量(万 m^3)...上下水道局が関与した水田湛水事業による年間の地下水かん養量

基準値 (H23)	実績 (H28)	目標値 (H30)	評価 D	評価理由
671.3 万 m^3	67.7 万 m^3	804 万 m^3		基準値を下回っているため

熊本地震による水路の破損のため一部地域で湛水事業が実施できず、涵養量が大きく減少しました。

今後の方向性

引き続き、白川中流域における地下水かん養事業、水源涵養林整備事業に対する支援及び公益財団法人くまもと地下水財団への参画を通じた地下水保全に取り組んでいきます。また、平成 29 年度から熊本市が実施する「熊本市東部堆肥センター」の整備に協力し、硝酸態窒素対策を推進します。

5-2 地下水のおいしさを「届ける」取組み

直結給水を推進するとともに、水道水の安全性やおいしさのPRに努めています。

平成 28 年度実績

- ・直結給水方式の推進（直結給水への普及啓発件数 4,123 件）
- ・水道水の安全性やおいしさのPR（広報紙・ホームページ・出前教室・施設見学など）

成果指標

【水道】水道水をおいしいと感じる市民の割合(%)...市民へのアンケート調査

基準値 (H23)	実績 (H28)	目標値 (H30)	-	評価理由
81.4%	-	86.0%		平成 28 年度は未調査

今後の方向性

直結給水方式の情報提供や水道水の安全性・おいしさのPRについて、効果的な方法を考えながら継続して実施していきます。

5-3 水を自然に「還す」取組み（総合的な汚水処理対策）

公共下水道、合併処理浄化槽、農業集落排水のそれぞれの役割分担を踏まえ、関係部署と連携して、総合的な汚水処理対策を推進しています。

平成 28 年度実績

- ・公共下水道、農業集落排水及び合併処理浄化槽の関係部署との連携会議の実施

成果指標【H27：B 評価 H28：C 評価】

【下水道】汚水処理率(%)...（下水道・合併処理浄化槽・農業集落排水処理の合計人口/行政人口）×100

基準値 (H23)	実績 (H28)	目標値 (H30)	評価 C	評価理由
93.2%	95.9%	99.1%		基準値は上回るが順調に推移していないため

今後の方向性

国の方針である汚水処理 10 年概成の達成に向け、関係部署と連携し、総合的な汚水処理対策を推進します。

基本施策 6 環境負荷低減策の推進

6-1 地球温暖化対策の推進

自然エネルギーの活用などにより、地球温暖化対策を推進しています。

平成 28 年度実績

- ・自然エネルギー導入計画に基づく取組み（太陽光発電の活用など）

成果指標【H27：B 評価 H28：C 評価】

【上下共通】自然エネルギー発電量(千 kwh)

基準値 (H23)	実績 (H28)	目標値 (H30)	評価 C	評価理由
68,1 千 kwh	4,482 千 kwh	7,077 千 kwh		基準値は上回るが順調に推移していないため

今後の方向性

自然エネルギー買取価格の下落等を踏まえ、経済性や事業効果を再検討し、自然エネルギー導入計画の見直しを行います。

6-2 資源の有効活用

下水道資源の有効活用やグリーン計画を推進するなど資源の有効活用に取り組んでいます。

平成 28 年度の主な実績

- ・東部浄化センターの消化ガス発電設備の稼働
- ・市グリーン計画に基づく取組み（エネルギー使用量の削減・ごみの減量など）

成果指標【H27：A 評価 H28：A 評価】

【下水道】汚泥の有効利用率(%)... (汚泥有効利用量/発生汚泥量) × 100

基準値 (H23)	実績 (H28)	目標値	評価 A	評価理由
31.3%	100%	100%		事業計画のとおり目標を達成したため

今後の方向性

引き続き下水汚泥の有効利用率 100%に取り組んでいきます。

また、国のエネルギー施策や民間活力の活用などの費用対効果を見極めながら、西部浄化センターへ消化ガス発電の導入を検討します。

6-3 下水道高度処理の推進

有明海等の水質改善に向けて高度処理に取り組めます。

平成 28 年度実績

- ・東部浄化センター増設用地の購入契約
- ・高度処理の導入に向けた地元自治会及び近隣住民に対する説明会の開催

成果指標【H27：B 評価 H28：B 評価】

【下水道】高度処理人口普及率(%)... (高度処理を実施している地域の人口/行政人口) × 100

基準値 (H23)	実績 (H28)	目標値 (H40)	評価 B	評価理由
0%	0%	96.1%		計画通り順調に進捗しているため

実績値は「0%」ですが、施設導入用地の購入契約など、計画通り進捗しています。

今後の方向性

臭気対策及び浸水対策に関する課題解決に取り組むながら、高度処理施設導入を進めていきます。

基本方針 3 お客さまを真ん中にした事業運営

基本施策 7 信頼性・利便性の向上と広報・広聴の充実

7-1 お客さまの信頼性・利便性の向上

お客さまの信頼性や利便性の向上に努めています。

平成 28 年度実績

- ・課毎に職員の不祥事を根絶するための取組み目標を設定し、毎月の局内会議において報告を実施し、コンプライアンス遵守に努めました。

成果指標【H27：D評価 H28：D評価】

【上下共通】上下水道局を信頼できると感じる市民の割合(%)...市民へのアンケート調査

基準値 (H24)	実績 (H28)	目標値 (H33)	評価 D	評価理由
55.7%	53.7%	基準値より増加		基準値を下回っているため

今後の方向性

引き続きお客さまの利便性の向上に努めるとともに、コンプライアンス遵守の徹底や事務処理ミス防止に努めていきます。

7-2 お客さまに身近でわかりやすい情報の提供

広報体制を充実するとともに、適切な情報の提供に努めています。

平成 28 年度実績

- ・熊本地震の影響により水の科学館を一時的に休館したものの、来館者数は 99,928 人/年となり、目標値 (100,000 人/年) と同水準を達成しました。
- ・前年と同様に広報業務を民間企業に委託し、効果的かつ戦略的な広報を実施しました。

成果指標【H27：D評価 H28：A評価】

【上下共通】上下水道局が提供する情報に満足している市民の割合(%)...市民へのアンケート調査

基準値 (H24)	実績 (H28)	目標値 (H33)	評価 A	評価理由
36.6%	36.8%	基準値より増加		基準値を上回っているため

今後の方向性

今後も民間の提案を取り入れた広報展開を図り、市民の方へ分かりやすい情報発信を行っていきます。

7-3 お客さまニーズの的確な把握

お客さまアンケートの実施等により、お客さまニーズの的確な把握に努めています。

平成 28 年度実績

- ・熊本地震の影響によるイベント出展の減少に伴い、アンケート回答人数は前年度実績 (3,954 人) より、半数以上低下しました。
- ・ホームページに掲載しているFAQ (よくある質問) を更新し、利便性の向上を図りました。

成果指標【H27：A評価 H28：D評価】

【上下共通】アンケート回答人数(人)...実施したアンケートに対する回答人数

基準値 (H23)	実績 (H28)	目標値 (H33)	評価 D	評価理由
2,736 人	1,777 人	基準値より増加		基準値及び前年度を上回っているため

今後の方向性

今後も継続的にアンケート調査等によりご意見を伺い、お客さまニーズの的確な把握に努めます。

基本方針 4 安定した事業経営

基本施策 9 経営基盤の強化

9-1 中長期的な財政見通しに基づく事業経営

財政見通しに基づき安定した事業運営を推進しています。

平成 28 年度実績

- ・熊本地震の発生により、多額の復旧経費を計上したうえ、料金減免による減収により収支は悪化しましたが、既存事業の見直しや先送り等により、全体の収支悪化を最小限にとどめました。

成果指標【H27：B 評価 H28：B 評価】

【水道】企業債残高(億円)

基準値 (H23)	実績 (H28)	目標値 (H33)	評価 B
326 億円	340 億円	336 億円	
評価理由	建設改良事業の進捗に応じて企業債を発行したこと、また災害復旧債の新規発行に伴い残高は増加。災害復旧債は今後も発行を予定していることから、後年度負担に影響を及ぼさないよう発行総額の調整を行う。		

【下水道】企業債残高(億円)

基準値 (H23)	実績 (H28)	目標値 (H33)	評価 A
1,495 億円	1,389 億円	1,353 億円	
評価理由	企業債残高は一貫して減少傾向であり、目標に向けて順調に推移しているため。		

今後の方向性

基幹財源である水道料金や下水道使用料の回復状況を注視しながら、震災復旧復興計画に基づく事業実施を踏まえた中長期財政見通しの見直しを行います。

9-2 コストの削減と資産の有効活用

職員数の削減や事務事業経費等のコスト削減に取り組むとともに、資産の有効活用等に努めています。

平成 28 年度実績

- ・遊休資産を売却（3 件）し、資産の有効活用を図りました。
- ・料金関係業務について、電話対応業務の委託を拡大し、職員数の削減を図りました。

成果指標【H26：A 評価 H27：B 評価】

【水道】収益的収支(百万円)

基準値 (H23)	実績 (H28)	目標値 (H33)	評価 B
2,051 百万円	1,464 百万円	965 百万円	
評価理由	地震の影響により財政見通しの収支見通しは下回ったが、通常費用の見直し等により、収支悪化を最小限にとどめたため		

【下水道】収益的収支(百万円)

基準値 (H23)	実績 (H28)	目標値 (H33)	評価 B
941 百万円	928 百万円	84 百万円	
評価理由	地震の影響により財政見通しの収支見通しは下回ったが、通常費用の見直し等により、収支悪化を最小限にとどめたため		

今後の方向性

遊休資産の売却等、今後も資産の有効活用を図るとともに、効率的な事業を推進するために、既存業務の委託拡大等の検討を継続します。

基本施策 10 執行体制の整備と人材の育成

10-1 執行体制の見直しと整備

意思決定過程の効率化や定員管理の適正化などに取り組み執行体制の見直しと整備を進めています。

平成 28 年度実績

- 熊本地震からの早期復旧・復興を担う組織を設置し、意思決定の効率化・迅速化を図るとともに、速やかな復旧・復興活動を実施しました。

成果指標【H27：A 評価 H28：B 評価】

【水道】収益的収支(百万円)

基準値 (H23)	実績 (H28)	目標値 (H33)	評価 B
2,051 百万円	1,464 百万円	965 百万円	
評価理由	地震の影響により財政見通しの収支見通しは下回ったが、通常費用の見直し等により、収支悪化を最小限にとどめたため		

【下水道】収益的収支(百万円)

基準値 (H23)	実績 (H28)	目標値 (H33)	評価 B
941 百万円	928 百万円	84 百万円	
評価理由	地震の影響により財政見通しの収支見通しは下回ったが、通常費用の見直し等により、収支悪化を最小限にとどめたため		

今後の方向性

安定した事業運営を行うため、今後も適宜執行体制の見直しや整備を進めていきます。

10-2 人材の育成

職員研修の充実や人材育成型配置転換の実施などにより、人材の育成を図っています。

平成 28 年度実績

- 前年度実績 (112 件) を上回る 130 件の派遣研修を実施しました。

成果指標【H27：D 評価 H28：A 評価】

【上下共通】研修受講率 (%) ... 総務課所管研修受講者/全職員数

基準値 (H24)	実績 (H28)	目標値 (H33)	評価 A	評価理由
48.7%	103.9%	70%		基準値を上回っているため

今後の方向性

職員の資質向上や技術の継承がなされるよう職員研修を実施していきます。

10-3 国際貢献

JICA (国際協力機構) 等の海外からの研修生に対して、上下水道事業に関する技術の提供を行います。

平成 28 年度実績

- JICA や留学生からの研修要請について、積極的に受け入れを行い、施設見学等を実施しました。

成果指標【H27：A 評価 H28：A 評価】

【上下共通】国際交流延べ人数 (人)

基準値 (H23)	実績 (H28)	目標値 (H33)	評価 A	評価理由
11 人	124 人	基準値より増加		基準値を上回っているため

今後の方向性

引き続き、研修要請を積極的に行っていく。